

Since 1985 新発田フルート音楽研究会

響きが音楽

落谷虹児記念館で
名手たちの古楽器演奏を楽しむ

フラウト・トラヴェルソ 勝俣敬二

バロック・リュート 今村泰典

ヴィオラ・ダ・ガンバ 品川聖



Keiji Katsumata



Yasunori Imamura



Hijiri Shinagawa

Program

トッカータ第12番とコレンテ 第5番 [A. ピッチニーニ 1566-1638頃]

トッカータ第5番 [G. G. カプスベルガー 1580-1651]

ヴィオール曲集第4巻より二長調 [M. マレ 1656-1728]

プレリュード-ガヴョット「お気に入り」-ロンドー「優美」

フルートと通奏低音の為の組曲 イ長調 [J.B. de ボアモルティエ 1689-1755]

フルートと通奏低音の為のソナタ ト長調 [J.M. ルクレール 1697-1764]

無伴奏フルートの為のソナタ イ短調 [C. Ph. E. バッハ 1714-1788] 他

2016.10.8 (土)

午後6時30分開演 [午後6時開場]

新発田市 落谷虹児記念館

主催/ご予約/お問い合わせ

新発田フルート音楽研究会

Tel 090-9002-9347 小島

e-mail Infomation 直通 0120-032574

E-mail flauto_seminario@yahoo.co.jp

風のセミナリオ http://blog.goo.ne.jp/f_seminario

Ticket

一般 3000円 [当日3500円]

小中高生 2000円 [当日2500円]



スイスのバーゼルスコラ・カントルム留学時代からの友であるリュート奏者の今村泰典氏を久しぶりに迎えます。特に初期バロックのリュート奏者であったA.ピッチニーニとG.G.カプスベルガーの2人の作品を聴かせてくれます。ガンバの品川 聖氏は今年生誕360年の記念の年を迎えたヴィオラ・ダ・ガンバ奏者M.マレのソロ作品を、私は、9月に今村氏とスイスで共演する後期フランス・バロックの作品で私のライフワークであるJ.B.ド・ボアモルティエと気になるJ.M.ルクレール、そしてリクエストにお答えしてC.Ph.E.バッハのソロソナタを演奏いたします。どうぞご期待ください。勝俣敬二

勝俣敬二 [Keiji Katsumata] Fluto traverso

1952年米沢市に生れる。日本大学芸術学部を卒業。同大学芸術研究所を修了。スイスのバーゼル市立音楽大学古楽科〔スコラ・カントルム〕でヨーロッパ各時代のフルートの歴史的奏法をP.ライデマイスター、R.メイラン両氏に師事。西洋音楽の源泉であるグレゴリオ聖歌を研鑽した。同時にスイス音楽教育者連盟の留学生となりスイスの現代音楽を学び、芸術家ディプロムを得ている。スイス国内外で演奏活動後帰国。これまでチューリッヒの『プロ・ヘルヴェツィア財団』の援助を得て、スイスの現代作品を数多く我が国で初演、又邦人作品をスイスやドイツで紹介し続けてきた。1998年より16年間に亘り日本大学芸術学部において古楽奏法と古楽理論（特に調性と演奏論）を教えた。

現在、日本とヨーロッパ各地で各時代のフルートによるリサイタル、室内楽や講演活動を展開、1983年より『フルート・セミナリオ』を創設し、古楽を基礎にするフルート演奏の実践、古楽講座を開講。1986年より聖アンセルモ・グレゴリオ聖歌隊及びカトリック目黒教会聖歌隊の指揮活動を通して『グレゴリオ聖歌』の継唱と研究に努めている。東京バッハ・カンタータアンサンブルメンバー、『レーズン派の音楽館』同人。主なCDには『天正少年使節と400年前の音楽』、『F&K. ドブラー・フルート音楽選』、『J.B.ド・ボアモルティエ・6つの無伴奏フルート組曲集』、『G. フォーレとC. フランクの芸術』がある。

今村泰典 [Yasunori Imamura] Lute

大阪に生まれ。スイスのバーゼル市立音楽院のスコラ・カントルムにてE・M・ドムボワ、H・スミスの両氏にリュートを師事し、同校を卒業する。また並行して通奏低音およびルネッサンス・バロック演奏解釈をT・コープマン氏に、作曲をW・ナイニンガーに師事する。

在学中から数少ないソリストとしてまた、通奏低音奏者として各地の音楽祭に招かれ、ヨーロッパ各国から中近東、アジアの国々まで幅広く演奏活動を行う。S. モリナーロ、J.S. バッハ、ド・ヴィゼー、S.L. ヴァイス、ピウエラ曲集等のCDは、各音楽雑誌に絶賛され、『ディアバノン・ドール』や『ル・ジョーカー』を受賞し、また日本の『レコード芸術』誌に於いても「特選盤」に選ばれる。2010年にはスイスのソロトルム州から文化功労賞を授与される。

一方、通奏低音奏者としてC. バルトリ、T・ベルガンサ、J・ノルマン、J・レーヌ、J・デイドナート、M・ミンコフスキー、ウィリアム・クリスティ、J・V・インマーゼール、M・シュナイダー、A・カーチェス等著名な音楽家とも共演し、著名なレーベルに130枚以上のCD録音を重ねる。1997年に自らアンサンブル「フォンス・ムジケ」を結成し、そのCD録音は「クラシカ賞」や「フォノ・フォルム賞」を受賞。

現在、レ・ムジシャン・ドゥ・ルーヴル・グルノーブル、ラ・スタジョーネ・フランクフルト、カメラータ・ケルン、ル・バルルマン・ドゥ・ミュージク、イル・コムプレッソ・バロッコ等のメンバーである。またフランスのストラスブル国立音楽院リュート科教授、ドイツのフランクフルト国立音楽院のリュート科講師として後進の指導にあたる一方、ヨーロッパ各地でマスタークラスの講師も務めている。

品川 聖 [Hijiri Shinagawa] Viola da gamba

桐朋学園大学古楽器科を1999年卒業後、同年ブリュッセル王立音楽院に留学。2003年ディプロマを取得し首席で卒業。ヴィーラント・クイケン氏ほかに師事。留学中の2001年、安曇野でのソロ・デビュー以来、各地でコンサート活動を展開。主としてヴィオラ・ダ・ガンバのソリストとして活躍。2006年より『J.S. バッハ: ガンバ・ソナタ全曲』のコンサートを毎年開催している。これまでに3枚のソロCDをリリース。東京古典楽器センター講師。日本ベルギー学会会員。

新発田フルート音楽研究会



1985年1月、スイス留学から帰国したフルート奏者勝俣敬二（主宰）が市内に開設したフルート教室を母体に、以来30年に亘り後進の指導とアットホームで創造性豊かな活動を続けています。当初から深い知識（古楽）や歌うことの素晴らしさ（グレゴリオ聖歌等）など西洋音楽の源泉を見つめて独自の音楽観を育んできました。活動内容は、入門から専門の方まで月2～3回のフルートやバロックフルートの個人レッスンを主体に、合奏や室内楽、古楽講座を楽しんでいます。夏期の合宿、定期演奏会、地域ボランティア、海外音楽研修旅行（これまで1993年米国、1995年スイス、1997年ポルトガルとスペイン、2000年ポーランドとドイツ、2004年オーストリーとチェコ、2007年スイス、2010年スイスとフランス、2013年イタリア、本年スイス、ドイツで楽しく演奏し交流の旅をしました。）スイス・レンク村での古楽講座などもあります。

◆ 受講生募集中 ◆

「フルート・バロックフルート教室」

フルートは年配の方には特にお勧めの楽器です。

音符が読めない方もOK。

現在は市内豊町のカトウスタジオが練習場です。

「勝俣敬二の古楽講座」

月に1回開かれています。

西洋音楽の源流であるグレゴリオ聖歌、

さまざまな調の性格、歴史、

絵画と音楽の関係etc.を楽しく学びます。

お問合せ先は同研究会

Tel. 090-9002-9347 小島 教室直通 Tel.0120-032574

E-mail flauto_seminario@yahoo.co.jp